



KIMURATAN

株式会社キムラタン

2024年3月期 第2四半期

決算説明資料

2023. 11. 10

エグゼクティブ・サマリー

2024年3月期 2Q実績

- 売上高

577百万円 (△74.3%)

- 営業利益

9百万円 (+533百万円)

- 四半期純利益

12百万円 (+795百万円)

2024年3月期 2Q概況

- **全社売上高74.3%減収**

アパレル大幅縮小が主要因

- **粗利益率+12.6ポイント**

在庫処分が一巡し値引正常化

- **販管費 △1,004百万円**

アパレル事業縮小により減少
さらなる固定費削減に取り組む

- **営業利益 +9百万円**

不動産事業が安定的に利益確保
アパレル事業赤字残るが赤字幅縮小

2024年3月期 業績予想

- 売上高

1,300百万円 (△63.4%)

- 営業利益

90百万円 (+814百万円)

- 当期純利益

20百万円 (+1,154百万円)

連結経営成績

- 売上高はアパレル事業縮小、子会社株式譲渡、保育園事業譲渡等により74.3%の減収
- 粗利益率の改善とアパレル事業縮小による販管費大幅減により営業利益、四半期純利益計上

(百万円)

	2023年3月期2Q		2024年3月期2Q		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	2,245	100.0%	577	100.0%	△1,668	△74.3%
売上総利益	732	32.6%	261	45.2%	△470	△64.3%
販管費	1,256	55.9%	252	43.6%	△1,004	△79.9%
営業利益	△524	△23.3%	9	1.6%	+533	-
経常利益	△775	△34.6%	△23	△4.1%	+752	-
四半期純利益	△782	△34.8%	12	△2.2%	+795	-

2023年3月期2Qの数値は、(株)キムラタンエステートの企業結合について、暫定処理から確定処理に修正して表示しております。

セグメント別売上高

- アパレルでは店舗数の大幅減、子会社株式譲渡により91.1%減収
- 不動産事業は安定的に収益を確保。ウェアラブルでは導入園・利用園児数ともに順調に増加

(百万円)

	2023年3月期2Q		2024年3月期2Q		増減額	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
全社	2,245	100.0%	577	100.0%	△1,668	△74.3%
アパレル事業	1,800	80.2%	160	27.8%	△1,639	△91.1%
不動産事業	401	17.9%	404	70.0%	+3	+0.8%
その他事業	44	2.0%	12	2.2%	△31	△71.1%

セグメント別売上総利益

- アパレル在庫処分が一巡。値引正常化により利益率は12.6ポイント改善
- 不動産事業の利益率減は稼働率向上のための修繕・リフォーム（売上原価に計上）先行による

(百万円)

	2023年3月期2Q		2024年3月期2Q		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
全社	732	32.6%	261	45.2%	△470	△64.3%
アパレル事業	557	31.0%	83	51.8%	△474	△85.1%
不動産事業	168	42.1%	166	41.1%	△2	△1.6%
その他事業	5	12.6%	12	94.0%	+6	+115.8%

販売費・一般管理費

- 事業縮小や本社スリム化によりアパレル事業では775百万円削減
- 保育事業の撤退、本社費削減等により全社ベースでは1,004百万円の削減

(百万円)

	2023年3月期2Q		2024年3月期2Q		増減額	増減率
	実績	全社売上比	実績	全社売上比		
全社	1,256	55.9%	252	43.6%	△1,004	△79.9%
アパレル事業	875	39.0%	100	17.4%	△775	△88.6%
不動産事業	49	2.2%	48	8.3%	△1	△2.1%
その他事業	32	1.4%	11	2.0%	△21	△65.2%
本社費	149	6.6%	92	16.0%	△56	△38.0%
調整額	149	6.7%	—	—	△149	—

売上比は全社売上に対する比率を記載しております。

営業外損益・特別損益

- 支払利息、シンジケートローン手数料負担の軽減等により営業外損益219百万円改善
- 物流マテハン機器の売却、中国子会社清算に伴う特別利益等を計上

(百万円)

	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前期比	増減要因等
営業利益	△524	9	+533	
営業外収益	28	30	+2	-
営業外費用	280	63	△216	支払利息△41百万円、シンジケートローン手数料等△145百万円、 為替差損△35百万円
経常利益	△775	△23	+752	営業利益改善に加え営業外損益+219百万円の影響
特別利益	-	41	+41	固定資産売却益、為替換算調整勘定取崩、新株予約権戻入益
特別損失	0	-	△0	-
法人税等	5	5	△0	-
当期純利益	△782	12	+795	

セグメント別損益

- アパレル事業は季節要因あり赤字残るが前2Q比372百万円赤字幅縮小
- 不動産事業は稼働率向上のためのリフォームが先行、本社費負担も増加。その他事業は収支均衡

(百万円)

前期2Q	アパレル事業	不動産事業	その他事業	調整	全社
売上高	1,800	401	44	-	2,245
セグメント貢献利益	△318	119	△26	△149	△374
本社費配賦額	108	30	9	-	149
セグメント損益	△426	88	△36	△149	△524

当期2Q	アパレル事業	不動産事業	その他事業	調整	全社
売上高	160	404	12	-	577
セグメント貢献利益	△17	117	0	-	101
本社費配賦額	37	53	1	-	92
セグメント損益	△54	64	△0	-	9

連結財政状態

- 総資産は前期末と比べ342百万円増加。負債は338百万円減少
- 純資産は680百万円増加。自己資本比率は8.6ポイント上昇

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 2Q	増減	増減要因等
総資産	7,629	7,972	+342	
流動資産	409	865	+455	現金・預金、商品・製品在庫の増加、売上債権の減少
現金・預金	55	489	+433	連結キャッシュ・フロー計算書参照
売上債権	54	28	△26	アパレル事業売上の減少による
商品・製品	213	272	+59	春夏⇒秋冬へ季節要因による増加
固定資産	7,219	7,106	△113	減価償却、のれんの償却による減少
負債	7,461	7,122	△338	借入金、未払金及び未払税金の減少が主要因
買掛金	25	28	+3	季節要因による
借入金	6,693	6,522	△170	約定弁済による減少
純資産	168	849	+680	増資、新株予約権行使、四半期純利益による
自己資本比率	2.0%	10.6%	-	-

連結キャッシュ・フロー計算書

- 税金等調整前四半期純利益は18百万円となるが未払経費・税金の減少等より営業C/Fはマイナス
- 借入金収入は減少。増資・新株予約権行使による収入が増加

(百万円)

	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前期比	増減要因等
営業C/F	△202	△84	+117	
税金等調整前利益	△776	18	+794	
減価償却費	113	109	△3	
売上債権の増減	116	26	△89	アパレル売上減により減少幅が縮小
棚卸資産の増減	389	△59	△448	前期減少は閉店セール在庫処分による。当期は季節要因により増加
仕入債務の増減	23	3	△20	-
その他	△75	△164	△90	主に期首未払金、未払税金等の減少による
投資C/F	△1,386	5	+1,391	前期は子会社株式取得に係る支出と一部物件売却による収入 当期は物件リフォームとEC関連支出、マテハン機器売却収入
財務C/F	1,267	512	△755	借入金収入が減少。増資・新株予約権行使による収入は増加
現金・同等物期末残高	148	489	+75	

2024年3月期通期業績予想

- アパレルは3Qに売上増と固定費削減効果により利益計上の見込み
- 不動産事業は3Q以降も安定的に収益計上の見込み。ウェアラブルも増収・利益確保へ

(百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	3,547	100.0%	1,300	100.0%	△2,247	△63.4%
営業利益	△724	△20.4%	90	6.9%	+814	-
経常利益	△1,037	△29.2%	30	2.3%	+1,067	-
当期純利益	△1,134	△32.0%	20	1.5%	+1,154	-

将来情報についての注意事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。

これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しております。